

意見発表要旨

県：福井県

発表者：島崎 直樹

所属地区クラブ：高志みどりクラブ

タイトル：～元気な農業は生き生きした農村から～

<自己紹介>

福井県福井市の南部、中山間地域で家族経営。水稻、大麦、大豆、キャベツを中心に露地野菜、ブドウなどを栽培。

作業は自分と父親が中心で、農繁期には母親や親族が手伝う。妻は、息子5人の子育て中。

発表趣旨

◎以前は調理師として働き、将来は地元で出店したいと思っていた。しかし地元にも過疎化が進んでいて出店どころではないと気づいた。父の退職を機に、一緒に本格的に農業を始めた。

◎順調に面積が拡大していく中、農繁期に周りを見渡すと作業しているのは家族だけ。当たり前だけど担い手として農地を請け負っていくと、預けた人は田んぼに出なくなる。村に活気がないと思うようになった。

自分たちのせいで、農業も過疎化していると感じた。

忙しい日々を追われ周りが見えてなくて、作業だけを淡々とこなす毎日。担い手として農業をするだけで地域のためになると思っていた。

実際していた農業は、自分たちだけの事しか考えてない農業に進んでいて、地域の活性化に繋がっていない。担い手としての農業は生き生きしているが村は限界がきている。

収益性や作業効率を求める農業は、自分の地域に向いてない。むしろそのまま突き進んだらいろいろ手遅れになる。

そもそも農業だけをしたかったわけではなかったはず。

◎地域の人達と共に地域を盛り上げたい。自分の地元を守るために選んだ農業。

地元のためになる農業をしていきたい。

【地域の過疎化】 【農業の過疎化】 両方を解決したい。